

草津あんしんいきいきプラン第 9 期計画 令和 7 年度事業実績・評価について

草津あんしんいきいきプラン第9期計画の基本体系

基本理念	基本目標	施策
— 人 す 暮 ひ ら と す り の こ が と い の き が で い き き と し ま 輝 ち き づ 、 重 く 安 り 心 れ し て	基本目標 1 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり ～地域包括ケアシステムの深化・推進～	★(1)助け合い・支え合う地域づくりの充実 (2)在宅医療・介護連携の推進 (3)地域包括支援センターの機能強化 (4)高齢者の住みよい暮らしの推進
	基本目標 2 いきいきと活躍できるまちづくり ～介護予防・生きがいづくりの充実・推進～	★(1)介護予防活動の推進 (2)健康づくりの推進 (3)社会参加における交流の促進 ★(4)活躍できる場づくりの充実
	基本目標 3 介護・福祉サービスの充実したまちづくり ～サービスの質の向上と介護人材の育成～	(1)高齢者を支える各種サービスの推進 (2)介護保険制度の安定的な運営 ★(3)介護人材の育成・確保 (4)家族介護者への支援の充実
	基本目標 4 認知症があっても安心できるまちづくり ～認知症施策の推進～	(1)認知症の正しい知識と理解を深めるための普及・啓発の推進 (2)認知症の人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進 (3)認知症の予防等の取組 (4)医療・介護等の支援体制づくりの推進 (5)認知症の人およびその家族への支援
	草津市認知症施策アクション・プラン第4期計画	
	★重点施策	

第9期草津市あんしんいきいきプラン計画の概要【重点施策】

基本目標1 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり
～地域包括ケアシステムの深化・推進～

重点施策1	助け合い・支え合う地域づくりの充実
-------	-------------------

○地域資源や地域の高齢者の特徴を踏まえ、住民が地域の関係者を交えて地域の課題を共有し、「我が事」ととらえ、課題解決に向けて話し合う場を持つとともに、課題解決に向けた取組が生み出されるような仕組みづくりを行います。

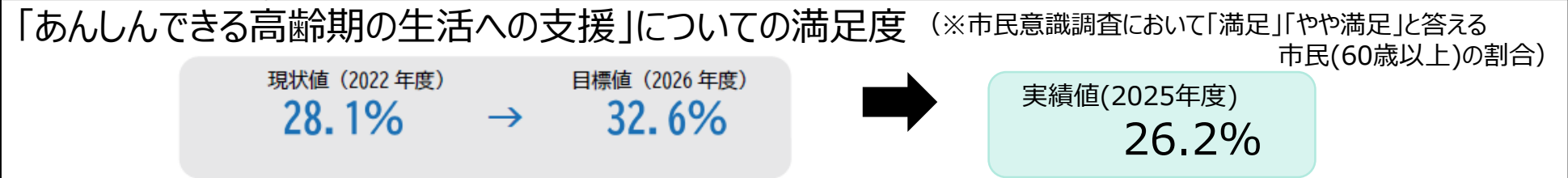
○地域の困りごとや助け合いの必要性について、地域の中で共通認識を持ち、その中から住民の主体性・自発性を持った活動が生み出されるよう支援します。

○高齢者をはじめ、生活上の困難を抱える要援護者を地域で「見守り・見守られ」、「支え・支えられる」助け合いの基盤となるネットワークの構築を進めます。

【実施事業】

○「学区の医療福祉を考える会議」の推進	○地域ケア会議の推進
○生活支援体制整備事業の推進	○小地域ネットワーク活動の推進
○民生委員・児童委員による見守り活動の促進	○重層的支援体制整備事業の推進
○地域支え合い運送支援事業および福祉車両貸出事業等の推進	

基本目標 1	高齢期を「あんしん」して生活できると思う市民の割合を増やします！
--------	----------------------------------



重点施策 1 助け合い・支え合う地域づくりの充実

令和7年度取組概要

1.「学区の医療福祉を考える会議の推進」

14学区すべてに地域福祉コーディネーターを配置し、「学区の医療福祉を考える会議」の開催を支援し地域のネットワーク構築を図りながら高齢者を取り巻く現状や課題の共有、課題解決に向けた取組を進めました。

2.「地域ケア会議の推進」

地域住民や専門職と地域ケア個別会議を行い、地域課題の抽出や課題を解決するための取組について検討・実施したとともに、自立に向けた支援について、医療・介護の多職種の見点から個別事例の検討を行いました。

3.「生活支援体制整備事業の推進」

各小学校区を担当する生活支援コーディネーターを配置し、14学区において協議体（学区の医療福祉を考える会議）を設置し、学区（地域）の実情に応じて、課題解決に向けた取組を進めました。

4.「小地域ネットワーク活動の推進」

社協と連携を図り、引き続き地域福祉活動の取組を支援することにより、地域でのネットワークづくりや地域に応じたきめ細やかなセーフティネットの構築に努めました。また、地域福祉活動の中核を担う学区社協への支援強化のため、市社協に各学区を担当する「地域福祉コーディネーター」を配置するための支援を行いました。

5.「民生委員・児童委員による見守り活動の促進」

日常的な見守りや声かけ、個別相談・訪問等の活動の支援および活動に取り組みました。

6.「地域支え合い運送支援事業および福祉車両貸出事業等の推進」

外出が困難な高齢者や障害者等に対して、地域で実施されるボランティア送迎（地域支え合い運送事業）について、市社協の車両貸し出し等を支援しました。

7.重層的支援体制整備事業の推進

高齢者等を含む複雑化・複合化した課題を抱える世帯の支援について、多機関協働事業においてコーディネート会議を開催し、支援関係機関間の世帯支援における役割分担や支援の方向性の検討を行いました。また、制度の狭間の課題を抱える人や自ら支援につながる事が難しい方等に対して、アウトリーチ支援事業や参加支援事業の実施により伴走支援や社会参加にかかる支援を行いました。

令和7年度事業実績

1.「学区の医療福祉を考える会議の推進」

課題解決に向けた取組として、学区（地域）の実情に応じて、地域住民の困りごとを支え合って解決する生活支援ボランティアに関する取組の検討や地域資源マップの作成、ピカツと草津等の取組を実施することができました。

2.「地域ケア会議の推進」

- ・地域ケア個別会議開催数：85回 地域ケア推進会議：18回
- ・自立支援地域ケアカンファレンス開催数：9回

3.「生活支援体制整備事業の推進」

【学区の医療福祉を考える会議開催学区】
志津、志津南、矢倉、草津、大路、渋川、老上、老上西、玉川、南笠東、
山田、笠縫、笠縫東、常盤【14学区】

4.「小地域ネットワーク活動の推進」

関係各課および市社会福祉協議会との情報共有を図るとともに、学区社協会長会、民児協総務会等への参加により、市と市社会福祉協議会の連携を図ることができました。また、地域福祉コーディネーターの配置を支援することで、市社会福祉協議会が行う地域ネットワークづくりに寄与することができました。

5.「民生委員・児童委員による見守り活動の促進」

民生委員・児童委員の活動に必要な情報を提供することにより、地域住民の実態把握など見守り活動等の強化につなげました。また、地域への働きかけや広報啓発等の取組を実施し、担い手確保の支援及び地域での民生委員・児童委員活動に対する理解を広げること等により活動しやすい環境を整える支援を行いました。

6.「地域支え合い運送支援事業および福祉車両貸出事業等の推進」

地域支え合い運送支援事業および福祉車両貸出事業を通じて、地域の支え合い、助け合い活動を推進することができました。

- ・地域支え合い運送支援事業
：5学区（志津南・山田・老上・老上西・南笠東）
- ・福祉車両貸出事業：388件

7. 重層的支援体制整備事業の推進

複雑化・複合化した課題や制度の狭間の課題がある世帯の支援についてコーディネート会議を開催し、支援方針や役割分担について総合調整を行うとともに、参加支援事業やアウトリーチ支援事業を通じて、制度の狭間の課題がある8050問題を抱えている人等に対する参加支援や伴走支援を行うことができました。また、草津市重層的支援体制整備事業実施計画の策定を行いました。



令和8年度の取組

1.「学区の医療福祉を考える会議の推進」

引き続き、地域の各団体や医療・介護・福祉の関係者とともに、地域課題の共有や、課題解決に必要な資源開発や地域づくりを推進していきます。医療福祉を考える会議の開催に向けて事前調整や当日運営を丁寧に行い、テーマに関する検討や取組を円滑に進めていくとともに、「ピカッと草津」をはじめ、各学区で生まれた取組を周知啓発することで、より多くの方に地域の困りごとや取組を知ってもらい、協力してもらえるような福祉風土づくりを進めていきます。

2.「地域ケア会議の推進」

令和8年度には検討した市域の課題について、より詳細な実態把握を行い、政策形成につなげます。個別事例から地域課題を抽出できるように開催方法の検討を進めていきます。

3.「生活支援体制整備事業の推進」

各学区への支援に取り組み、他学区等の既存の取組から得たアイデアを活かしたり、または「ピカッと草津」のように先駆的な取組として主体的に検討を進める事例を生むことを目指し、引き続き、生活支援コーディネーターを中心に、学区（地域）の実情に応じた地域の支え合い活動の推進を図っていきます。

4.「小地域ネットワーク活動の推進」

各学区に担当コーディネーターを配置し、会議や相談などの機会に担当学区との関わりを重ねることにより、学区社協や地域住民との間で築いた関係性のもとで、地域の思いの共有し、地域福祉活動の推進に努めます。

5.「民生委員・児童委員による見守り活動の促進」

民生委員・児童委員が、地域の身近な相談役として、日常的な見守りや声かけ、個別支援を行うことができるよう、専門部会や委員会の活動や研修・情報交換を行うことにより、引き続き支援に取り組みます。

6.「地域支え合い運送支援事業および福祉車両貸出事業等の推進」

引き続き、市社協と連携を図りながら、地域支え合い運送支援事業の維持・拡大に努めます。

7.重層的支援体制整備事業の推進

複雑化・複合化した課題や制度の狭間の課題がある世帯の支援について多機関協働事業による総合調整を行うとともに、アウトリーチ支援事業や参加支援事業を一体的に実施することで、包括的な支援体制の推進を図ります。

基本目標 2 いきいきと活躍できるまちづくり ～介護予防・生きがいつくりの充実・推進～

重点施策 2	介護予防活動の推進
○外出支援や買い物、調理、掃除等の家事支援を含む日常生活上の支援を必要とする高齢者の個々の状態に応じ、適切な生活支援・介護予防サービスを提供することで、介護予防や自立支援につながるよう運用します。 ○高齢者の自主的な介護予防活動が地域の中で促進されるよう、新たな自主活動グループの育成および既存のグループの継続支援を行います。 ○出前講座や養成講座を通じて、フレイル、低栄養予防、口腔機能の維持等に関する正しい知識の普及を推進します。 ○介護予防事業と生活習慣病の疾病予防・重症化予防等の保健事業を効果的かつ一体的に進めます。	
【実施事業】 ○介護予防・生活支援サービスの充実 ○いきいき百歳体操の推進 ○草津歯(し)・口からこんにちは体操の推進 ○フレイル予防の推進 ○介護予防普及啓発事業の推進 ○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進	
重点施策 3	活躍できる場づくりの充実
○就労やボランティア活動などにより、高齢者の生きがいつくりや、担い手として活躍できる場を提供できるよう、人材の育成や機会の提供等の支援を行います。 ○社会福祉協議会、老人クラブ連合会、シルバー人材センター等、幅広い関係団体が連携し、地域における多世代交流の場、世代を超えた活躍の場を創出することで、高齢者の多様な社会参加を促進し、高齢者自身が率先して地域づくりの主役として活躍したいと思うような地域文化の醸成を図ります。	
【実施事業】 ○老人クラブ活動の充実 ○地域サロン活動の充実 ○人権課題に対する正しい理解の普及啓発 ○ボランティア活動の推進 ○高齢者労働能力活用事業の推進	
基本目標 2	高齢期を「いきいき」と暮らすことができると思う市民の割合を増やします。
「いきいきとした高齢社会の実現」についての満足度 (※市民意識調査において「満足」「やや満足」と答える市民(60歳以上)の割合) 現状値 (2022 年度) 28.8% → 目標値 (2026 年度) 34.0% ➡ 実績値(2025年度) 26.4 %	

重点施策2 介護予防活動の推進

令和7年度取組概要

1.「介護予防・生活支援サービスの充実」

利用者の身体状況などに応じて、日常生活を充実させる介護予防や日常生活の自立を目指すためのサービス（介護予防・日常生活支援総合事業）を運用しました。また、サービスが適切に提供されるよう、ケアプラン点検を実施しました。

2.「いきいき百歳体操の推進」

各団体が自発的に地域においていきいき百歳体操を実施することで介護保険サービスを使用せず、インフォーマルサービスにて介護予防を実施しました。

3.「草津歯(し)・口からこんにちは体操の推進」

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送るために、最期まで自分の歯でおいしく食べることができるよう、高齢者が主体となって介護予防活動に取り組むことができるよう、またその取組が効果的、定着・活性化することを目的に事業を実施しました。

4.「フレイル予防の推進」

高齢者が自身のフレイルの状態に気付き、自らフレイル予防に取り組むことができるよう、地域サロン等に専門職を派遣し、フレイル予防に関する正しい知識の普及・啓発を行いました。

5.「介護予防普及啓発事業の推進」

要介護状態になることを防ぐため、介護予防教室や高齢者をささえるしくみ、出前講座等を通じて、介護予防の必要性について普及啓発を行いました。

6.「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進」

高齢者が自身のフレイルの状態に気付き、自らフレイル予防に取り組むことができるように、健幸フレイル予防講座を開催し、フレイル予防に関する正しい知識の普及・啓発を行いました。
生活習慣病の重症化予防のため、ハイリスクアプローチの対象者を抽出し、訪問等により医療機関や健診の受診勧奨、保健指導、社会資源の情報提供等を行いました。

令和7年度事業実績

1.「介護予防・生活支援サービスの充実」

高齢者（要支援認定者および事業対象者）が自立した生活を送るため、日常生活における生活援助や身体介護のサービス、また通所介護事業所等において食事や運動等のサービスを提供し、高齢者の自立支援や介護予防を図りました。

- ・介護予防型訪問型介護相当サービス利用件数：延べ 499件
- ・生活支援型訪問サービス利用件数：延べ 1,075件
- ・介護予防型通所介護相当サービス利用件数：延べ 3,541件
- ・活動型デイサービス利用件数：延べ 1,478件
- ・ケアプラン点検実施回数：60回

2.「いきいき百歳体操の推進」

新たに介護予防に取り組む団体に対して立ち上げ支援を行うとともに、継続団体には交流会の実施や体力評価を行う事で活動継続への支援を行いました。また、サポーター養成講座を実施し、地域での介護予防に取り組む人材の育成をはかりました。

- ・いきいき百歳体操団体数：129団体
- ・いきいき百歳体操サポーター養成：5名

3.「草津歯(し)・口からこんにちは体操の推進」

新たな介護予防の自主活動グループの育成として、口腔の機能や「草津歯・口からこんにちは体操」の紹介の講座にてアプローチを行い、5団体が新規団体として立ち上がりました。

- ・草津歯・口からこんにちは体操数：114団体

4.「フレイル予防の推進」

- ・管理栄養士 R7：10回
- ・理学療法士 R7：28回
- ・保健師 R7：9回
- ・歯科衛生士 R7：24回

5.「介護予防普及啓発事業の推進」

eスポーツを通じて他者と交流し、介護予防につなげるため、各地域まちづくりセンターや長寿の郷ロクハ荘等において、高齢者を対象としたeスポーツ事業を拡大して実施しました。

また、高齢者を対象に、インフロニア草津アクアティクスセンターのプールやスタジオを活用し、介護予防教室を2クールから3クールに拡大して実施しました。

- ・出張eスポーツ 14地域まちづくりセンター 189名
- ・eスポーツ体験教室 12回 40名
- ・地域出前講座 20団体 延べ280人
- ・eスポーツルーム 154.2時間 533人
- ・介護予防教室 1クールあたり12回 × 3クール 延べ85人参加

6.「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進」

- ・健幸フレイル予防講座（6回/クール×2クール） 延べ58名

〈ハイリスクアプローチ〉・口腔 訪問：3名 電話：0名

- ・重症化予防（糖尿病性腎症） 訪問：1名 電話：0名

- ・重症化予防（その他生活習慣病） 訪問：16名 電話：5名



1.「介護予防・生活支援サービスの充実」

高齢者の自立支援や介護予防に向けて、引き続き、利用者の状態に応じた必要なサービスを提供するのに加え、サービス提供体制の構築に向けた対策を検討します。併せて、ケアマネジャーのみではなく、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所として適切なケアマネジメントが実施できるようケアプラン点検を行います。

2.「いきいき百歳体操の推進」

団体の高齢化に伴い代表者の担い手不足が課題となるため、新たに介護予防に取り組む高齢者に普及啓発を行うとともに、団体の立ち上げ支援を行うことで、新たに地域の活動に取り組む団体を増やします。

また、継続団体には交流会の実施や体力評価を行う事で活動意欲の向上を図りながら活動継続への支援を行うとともに、サポーター養成講座を実施し、地域での介護予防に取り組まれる人材の育成をはかることで、インフォーマルサービスにつなげています。

3.「草津歯(し)・口からこんにちは体操の推進」

高齢者が最期まで自分の歯でおいしく食べることができるよう、フレイルの前段階であるオーラルフレイルについて高齢者が知ることが介護予防の一步となるため、まず高齢者自身がオーラルフレイルに気づくこと、さらには改善が可能なことを知り、生活の中でオーラルフレイルの予防に取り組むことができるように講座等で周知を行っていきます。

4.「フレイル予防の推進」

管理栄養士・理学療法士・保健師・歯科衛生士等の専門職を地域サロン等に派遣し、フレイル予防の取組や啓発を行うことを継続します。

フレイルである高齢者がフレイル予防に対する理解を深め、高齢者自身が主体的にフレイルの改善・予防に取り組むことができるように、AIを活用したフレイル予防運動教室を実施します。

5.「介護予防普及啓発事業の推進」

今後、高齢者人口が増え高齢化が進む中、自発的に介護予防に取り組む人を増やすことが重要となるが、地域での活動は団体の高齢化や女性のための団体など参加者の固定化が課題となっています。

地域で介護予防を行うには、担い手や新たな参加者を増やすことができるよう、eスポーツやプールを活用した教室など新たな介護予防の取組により、新たな活動者を増やせるよう引き続き取り組みを進めます。

・eスポーツ事業（拡大：シニアeスポーツ大会）

6.「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進」

訪問や架電の際には生活習慣改善に向けて、対象者の生活状況を聞き取り、効果的なアプローチを実施します。

「誰もが健康で長生きできるまち草津」を実現するため、イベント等様々な機会を捉え、健康づくりの重要性等について啓発を行ってまいります。

重点施策3 活躍できる場づくりの充実

令和7年度取組概要

1.「老人クラブ活動の充実」

高齢者の健康づくりや生きがいづくり等の取り組みに対する補助金の交付や、健康マージャン初心者教室の実施など、活動の活性化を図りました。

2.「地域サロン活動の充実」

地域の居場所づくりを支えるため、サロン運営の悩み相談や、新しい集計・立ち上げのお手伝いを通して、高齢者が楽しく外出できる機会づくりの取組を行うとともに、活動の促進に向け補助金を交付しました。

3.「人権課題に対する正しい理解の普及啓発」

同和問題のほか、高齢者、障害者、LGBTQ、インターネットと人権、子どもの人権など、様々な人権のテーマで、人権セミナーを開催しました。

4.「ボランティア活動の推進」

登録やボランティア活動団体とのコーディネートを行ったとともに、ボランティア活動への動機付けとなるよう、地域で介護予防サポーターとして活動を実施された65歳以上の市民に対して、活動実績に応じてポイントを付与する介護予防サポーターポイント制度を実施しました。

5.「高年齢者労働能力活用事業の推進」

公益社団法人草津市シルバー人材センターが行う就業機会の提供や地域に根ざした事業に対して、補助金の交付により、高齢者の豊かな経験を活用し、新たな役割と生きがいを見いだせる社会の構築を図る支援を行うことができました。

令和7年度事業実績

1.「老人クラブ活動の充実」

創造推進員のもと、高齢者の健康づくり、生きがいづくり等の取り組みが行われ、補助金の交付を通して老人クラブの活動への支援に努めました。

・令和7年度 19クラブ 559人

2.「地域サロン活動の充実」

各地域サロンの運営関係者間での交流会の開催や、地域サロンに関連する説明や立ち上げの際のノウハウ等の説明を通じて、地域サロン活動の拡大を図りました。

・地域サロン数（令和8年3月31日現在）…155サロン

3.「人権課題に対する正しい理解の普及啓発」

高齢者を含む人権についての正しい理解の促進と差別の解消をめざし、人権セミナーを7月から10月にかけて8回開催しました。

・受講者 延べ346人

4.「ボランティア活動の推進」

ボランティアグループ、地域サロン活動リスト、出前ボランティア一覧を作成し活動の活性化と仲間づくりを支援しました。

【ボランティア登録】

団体登録：183団体（うち新規11団体）個人登録：24人（うち新規14人）

【介護予防サポーター】

・交付ポイント数 2,213ポイント ・換金金額 221,300円

5.「高年齢者労働能力活用事業の推進」

・交付金額：令和7年度：14,839,000円

令和8年度の取組

1.「老人クラブ活動の充実」

引き続き、補助金の交付とともに様々な活動の提案を行い、老人クラブの活性化を図っていきます。

2.「地域サロン活動の充実」

相談支援や交流の場を設けることで、引き続き身近な場所で支え合う関係づくりができるよう、地域サロン活動の拡充、促進を支援します。

3.「人権課題に対する正しい理解の普及啓発」

引き続き7月から10月にかけて、複数の人権テーマのセミナーを8回開催し、高齢者を含む人権についての正しい理解の促進と差別の解消をめざします。

4.「ボランティア活動の推進」

ボランティア活動の周知啓発や情報発信に努めるとともに、ボランティア活動を始める動機付けの一助となるよう報償金の交付を行うことで、活性化を図ります。

5.「高年齢者労働能力活用事業の推進」

今後も引き続き高齢者の豊かな経験を活用し、新たな役割と生きがいを見いだせる社会の構築を図るために補助金を交付し、支援を行います。

基本目標 3 介護・福祉サービスの充実したまちづくり ～サービスの質の向上と介護人材の育成～

重点施策 4

介護人材の育成・確保

- 介護人材の育成および確保に向けて、滋賀県、近隣他市、介護サービス事業所等と連携し、現状の把握により抽出した問題点に対して共働して問題解決に取り組みます。
- さまざまなイベント等の機会を通じて介護の仕事の魅力を発信することで、介護に関するイメージ向上に努めます。

【実施事業】

- 介護人材の確保に向けた取組の検討

基本目標 3

サービスの充実に必要な人材を確保できている事業所の割合を増やします

「介護人材の確保」についての充足度

(※アンケート調査において「人材(質または数)」を確保できていると答える
介護サービス事業者の割合)

現状値 (2022 年度)

65.6%

目標値 (2026 年度)

71.0%



実績値(2025年度)

66.7 %

令和 7 年度の取組概要

1.「介護人材の確保に向けた取組の検討」

湖南 4 市および介護サービス事業所で連携し、定着支援のセミナーおよびマッチングイベントを開催しました。また、若年層に対する介護職の魅力発信を実施しました。

令和 7 年度事業実績

1.「介護人材の確保に向けた取組の検討」

- ・定着支援セミナー、マッチングイベントの開催：1 回
- ・若年層に対する魅力発信事業の実施：1 回

令和 8 年度の取組

引き続き、近隣他市や介護サービス事業所と連携し、介護人材の確保・定着支援に取り組みます。